

当院における地域包括支援センター受託後の活動と課題

瀬間 良礎¹⁾ 美原 玄²⁾ 美原 盤³⁾

1) 公益財団法人脳血管研究所 伊勢崎市地域包括支援センター北・三郷

2) 公益財団法人脳血管研究所 在宅医療・介護統括局 局長

3) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 院長

[はじめに]当財団は平成 28 年度から伊勢崎市の委託により地域包括支援センターの活動を開始した。センターは地域を包括的に支援する機関であり、地域包括ケア体制の構築に向けて中核的な役割が期待されている。今回、センターのこれまでの活動状況を確認するとともに今後の課題について検討した。

[取り組み]地域包括支援センターは地域のネットワークを構築するため、受託後①地域へのセンターの周知活動 35 回、②困難事例等の検討を行う地域ケア会議の開催 14 回、③ケアマネジャーの資質向上を目的とした研修会の開催 8 回、④官民が一緒に協議する「伊勢崎市の地域包括ケアを考える会」の運営など、地域住民、医療介護従事者、行政などを含めた包括的な活動を行ってきた。地域からの相談件数は、平成 28 年度は 1230 件、29 年度は 1151 件であった。今後はセンターの機能強化や高齢者の自立支援・介護予防に向けた取り組みが課題である。